

トラストだより

平成31年
3月

三寒四温の言葉通り、冷たい雨と暖かい日差しの繰り返しで春が近づくように感じます。新しい季節はもうすぐそこですね！

株式会社東京トラスト 

【気になる由来！元号のはなし】

いよいよ平成も残りわずか。ニュースでは**新しい元号**の予想が盛んです。

31年続いた平成と、昭和、大正、明治。それぞれの**元号の由来**を振り返りました。

「**明治**」という元号は江戸時代以前から10回も候補に挙がりながら、11回目にしてようやく採用された元号でした。**五経**のひとつである**易経**より、「聖人南面して天下を聴き『明』にむかひて『治』む」という言葉から来ています。「聖人が北極星の様に顔を南に向けてとどまることを知れば、天下は明るい方向に向かって治まる」という意味が込められています。「**大正**」も同じく易経より「『大』いにとほりて以て『正』しきは天の道なり（天の徳が支障なくゆきわたり、政が正しく行われる）」という言葉が由来となりました。「**昭和**」は書経から「百姓（ひやくせい）『昭』明にして萬邦（ばんぼう）を協『和』す（国民の平和および世界各国の共存繁栄を願う）」という意味が込められた元号です。近代化に伴い**グローバル**な印象を持ちます。「**平成**」は史記からの「内『平』かに外『成』る」と書経からの「地『平』かに天『成』る」という言葉それぞれから平成と付けられました。「内外、天地ともに平和が達成される」との意味で、**平和に対する強い願い**が込められているように感じます。明治後の近現代でははじめての、予定された改元。日に日にお祭りムードが高まってきましたね。平成への感謝とともに、新しい元号を楽しみにしたいと思います！



不動産ニュース 晴海の選手村近くにCLT建築物 三菱地所



三菱地所は高層建築への活用も可能な木質系建築材のCLT（直交集成板）を使用した仮設建築物を選手村近くに建築すると発表した。晴海パークビル跡地（約6500㎡）にパビリオン棟と展示棟2棟を建築。高さ17.5mのパビリオン棟は鉄骨造とCLT造の混合構造で、ヒノキ材のCLTパネルを構造梁として使う。CLTは軽量だが強度が高く、施工期間が短いのが特徴。

CLTの国内普及と海外への発信を狙い、'19年秋から'20年秋まで運用、その後原産地の岡山県真庭市に移築する。デザイン監修は隈研吾建築都市設計事務所。

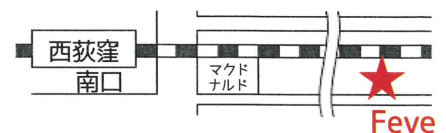
TRA 全国不動産協会ニュースより

* 西荻グルメ*

ビストロFeve



南口のこじんまりとしたビストロFeve（フェーブ）さん。旬を感じるボリュームたっぷりのお料理とワインのお店です。とにかくお料理のボリュームが多い！シェフの奥様に相談するとテキパキと気さくにアドバイスをくださるので皆でワイワイとメニューを決めていくのも楽しいひと時です。仲間とお喋りしながら食事を楽しめる素敵なお店です！



杉並区西荻南3-17-6 TEL：03-3333-0081